

2020年度【名古屋】

登録ALC基幹技能者講習 修了試験

問題

1. 試験時間：60分
2. 問題数：25問（四者択一式：「最も不適當」なものを選ぶ）
3. 注意事項
 - (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
 - (2) 受講番号と氏名を、解答用紙の所定の欄に正しく記入してください。記入がない場合や正しくない場合は、不合格となることがあります。
 - (3) 本冊子のページ数（問題記載ページ：1～8ページ）と試験問題数（25問）を確認してください。落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所などがあった場合には、黙って手を挙げてください。
 - (3) 机の上に置くことができるものは、「受講票」、「黒の鉛筆またはシャープペンシル」、「消しゴム」、「時計（携帯電話など、他の機能がないもの）」、「色鉛筆・マーカー等の印を付けるための筆記用具」です。
 - (4) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用できません。
 - (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ① 正解（最も不適當なもの）と考えるものを選択肢1～4の中から1つだけ選び、黒の鉛筆またはシャープペンシルで、解答用紙の回答欄に、その番号を記入してください。
 - ② 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消した後、新しい番号を記入してください。
 - (6) 試験中、質問等があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問には、お答えできません。
 - (7) 試験開始30分以降は、退室することができます。その際は、黙って手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。
 - (8) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
 - (9) この問題冊子は、持ち帰ることができます。なお、全会場の問題は、2020年度の全ての講習が終了した後に、正解と共にALC協会のウェブサイトで一定期間公開します。
 - (10) 試験開始の合図で始めます。

一般社団法人 ALC協会

問題 1 登録基幹技能者制度の意義と役割に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 技能者は、国土交通大臣の登録を受けた機関が実施する登録基幹技能者講習を修了することで、登録基幹技能者として認められる。
- 2 基幹技能者制度は、建設省（当時）が平成 7 年 4 月に策定した「建設産業政策大綱」において「新たな技能者像」として基幹技能者を重点的に確保・育成できるようにスタートした。
- 3 平成 20 年 1 月に建設業法施行規則が改正され、新たに「職長制度」として位置付けられることとなった。
- 4 国土交通大臣が登録した機関が実施する登録基幹技能者の修了者は、登録基幹技能者として認められ、経営事項審査において加点評価（3 点）の対象となっている。

問題 2 登録基幹技能者の確保・育成に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 建設産業担い手確保・育成コンソーシアムにおいては、技能労働者について 4 段階の各レベルに応じた訓練を効率的に実施できることが取り上げられた。
- 2 職業能力基準のイメージは、「見習い技能者」、「中堅技能者」、「職長・熟練技能者」、「登録基幹技能者」の 4 段階に分類されている。
- 3 職業能力基準の 4 段階の分類は、各レベルの技能者像、求められる知識や技術、技能、資格等について、各職種に共通して求められるものや職種ごとに求められるものである。
- 4 登録基幹技能者は、職業能力基準の 4 段階の分類における最上級レベル 1 に位置付けられている。

問題 3 登録基幹技能者制度の活用にあたって、発注者の声に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 技能労働者の位置付けをランダム方式の評価対象にすることにより、登録基幹技能者を積極的に育成している企業が元請企業から活用される機会が増え、老年者の入職促進、若者への技能の伝承につながる。
- 2 公共工事の品質確保やインフラの維持管理のため、中長期的な担い手が求められる中、登録基幹技能者制度は技能労働者のレベルアップにつながる。
- 3 登録基幹技能者となった技能労働者が若手の目標となり、担い手の育成にも寄与する。
- 4 登録基幹技能者の資格保有者が少ないことや、職種により登録者数に偏りがあることから、工事によっては、登録基幹技能者の手配に苦労している実態がある。

問題4 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 施工技術及び施工管理に係る一般的知識・技能を有し、かつ、現場案内役として、部下をやさしく包み込むことができる
- 2 他職種との折衝、調整を行い、工事の円滑化を図るとともに、部下の指導、教育を計画的に行うことができる。
- 3 技術提案等において部下の積極的な参加を促し、グループ全体の意欲の向上とチームワークづくりを図り、目標通りに工事を完成させることができる。
- 4 施工技術及び施工管理に係る基本的知識と優れた技能を有し、かつ、リーダー役として、部下を直接指揮、監督して、品質、コスト、安全面で質の高い施工ができる。

問題5 登録基幹技能者に必要な資質に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 仕事に信念を持ち、決断力を養ってこそ人はついてくる。
- 2 人を率いるには、自己愛に勝るものはない。
- 3 多くの理屈を言い立てるよりも、まず勇気を出して実行する方が説得力は大きい。
- 4 リーダーとして大切なことは信頼であり、約束を守るところから得られる。

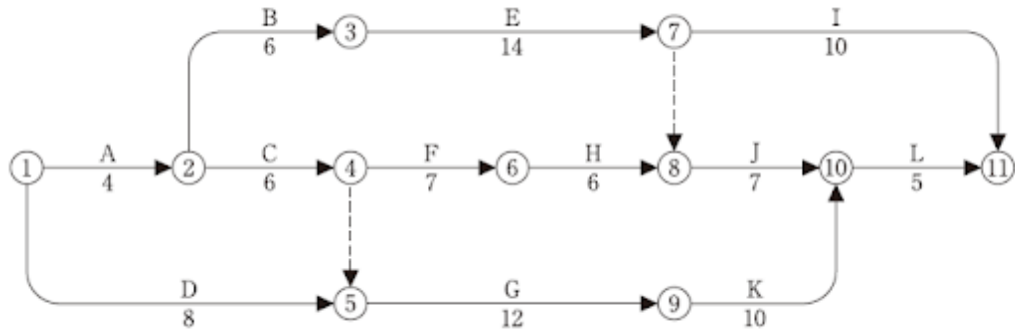
問題6 登録基幹技能者の現場において日常的に実施している業務に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 出来形の確認・検査
- 2 総合仮設計画書
- 3 施工要領書
- 4 新規入場者教育

問題7 レベルに応じた技能者の指導・教育に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 OJT は、上司の仕事そのものである。
- 2 OJT は、部下のペースに合わせる。
- 3 OJT では、仕事のペースを落として部下の育成に注力する。
- 4 OJT では、部下に外部との接触の機会を提供する。

問題8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



- 1 この図は、アロー型ネットワーク式工程表である。
- 2 この工程表のクリティカルパスは、A→C→G→K→Lである。
- 3 この工程表における工事の工期は、37日である。
- 4 ⑧の最早開始時刻（EST）は23日である。

問題9 ヒューマンエラーの原因となる人間の特性に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 集団検診
- 2 近道・省略行動
- 3 場面行動
- 4 パニック

問題10 施工計画の流れに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 施工計画立案にあたり、まず発注者との契約条件、設計図書などを十分に理解するだけで行う。
- 2 施工法や施工手順について品質、工程、安全だけではなく、原価、環境を含めて総合的に評価し、比較検討を行い、基本計画を作成する。
- 3 基本計画に従って各工程の施工方法及び施工順序の検討、施工機械の選定、人員配置、作業期間等の決定を行い、施工計画及び詳細工程を作成する。
- 4 施工計画及び詳細工程に基づき、労務・機械・資材の調達計画を立案し、工事費の予算組みを行う。

問題 11 作業手順書作成の目的に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 作業手順は、作業の中で発生するムリ・ムラ・ムダを取り除き、「安全に、早く、安く、出来栄え良く、かつ能率良く仕上げる」ために最も理想的な作業手順と急所によって組み立てられる。
- 2 作業手順書は誰がやっても「基準通り」に同じ結果が得られるものとなる。
- 3 作業手順書は、未熟練作業員に仕事を「安全で、正確に、早く」教えるために必要であるが、新入社員には不必要である。
- 4 作業手順書の作成には、仕事をよく知っている登録基幹技能者・安全衛生責任者が中心となって、作業員の意見を聞き、それらを加味して作成することが望まれる。

問題 12 見積原価の管理に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 現場条件や設計図書・施工図等、工程の確認など諸条件の読み落としなどの不備があれば利益を出すことはできない。
- 2 見積りでは、発注者と施工条件等のやりとりの上で合意することが大切である。
- 3 数量が変われば総額も変わるので、数量の正確さは重要である。
- 4 元請・下請双方が協力して高い生産性を達成することは重要であるが、双方が満足する利益を得ることは難しい。

問題 13 専門工事業者の原価管理に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 見積りの作成では、現場条件、施工範囲等を検討し、条件に合わせた見積りをするのが大切である。
- 2 見積書の経費では、直接工事費だけでなく、社会保険料等の企業負担分をはじめとした会社経費も確実に確保しなければならない。
- 3 建設業界においては、技能労働者の社会保険加入率が低いことが大きな問題となっており、技能労働者の処遇改善のため、国を挙げて社会保険の未加入対策が進められている。
- 4 各ゼネコンは、各専門工事業者団体に対して、法定福利費の内訳を明示した見積書の作成を働きかけている。

問題 14 設計品質と施工品質に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 品質には、「ねらいの品質」と「出来栄えの品質」があるが、いずれも設計段階で定める。
- 2 発注者を始めとして、建設コンサルタント、設計・監理者、総合工事業者、専門工事業者、材料供給業者間で品質の考え方の共有が必要である。
- 3 設計品質の内容と決め方には、「仕様規定」と「性能規定」がある。
- 4 「仕様規定」は、求める品質がより具体的に表現され、その成否の判断も明快である一方、施工に関わる技術革新や経済・社会の変化への柔軟な対応が難しいとの指摘がある。

問題 15 品質保証と ISO 9001 に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 専門工事業者においても、品質マネジメントシステムの国際規格である ISO 9001 の認証を受ける企業が多くなっている。
- 2 ISO 9001 は、製品の品質を担保、保証するシステムを事前に文書化して、それに対して第三者（マネジメントシステム認証機関）から認証を受け、それを消費者に開示する仕組みである。
- 3 品質保証のための企業活動の内容を、発注者、社会全体に文章等で「見える化」する方向性は、今後はこれまでよりは広まらないことが予想されている。
- 4 登録基幹技能者には、ISO 9001 に関する文書の作成やそれを使いこなす知識が求められている。

問題 16 足場からの墜落防止対策強化に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 高さ 2 m 以上の足場に組立等の際には、困難な場合を除き、幅 20cm 以上の作業床を設置する。
- 2 足場の組立て等の作業に従事する労働者に対しては、特別教育が必要となる。
- 3 建設業の元請事業主等の注文者は、足場の組立て等の後は、次の作業を開始する前にその状態を点検し、危険のおそれがあるときは、速やかに修理しなければならない。
- 4 一側足場、つり足場を除く足場の作業床に関する墜落防止措置として、床材と建地との隙間を 12cm 未満とする。

問題 17 建設業法令ガイドラインに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 建設業の担い手を確保するために、処遇改善等を通じて建設業への若年層の入職が促進されることが必要であり、政府一体となって元請下請間の取引適正化に取り組んでいる。
- 2 赤伝処理等による一方的な差し引き、指値発注による不適正な下請取引等、現状の建設業ではありえないことである。
- 3 「建設業法令ガイドライン」は、元請下請間のどのような行為が建設業法に違反するかを具体的に示して、法律の不知による法令違反行為を防ぐことを目的としている。
- 4 「建設業法令ガイドライン」は、元請負人と下請負人との対等な関係の構築及び公正かつ透明な取引の実現を図ることを目的としている。

問題 18 ALC パネルの性能に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 外壁用 ALC パネル及び屋根用 ALC パネルは水密性能が要求される。
- 2 ALC パネルは、適切な仕上げ及び防水を行うことを前提としている。
- 3 ALC パネルの断熱性能は、パネルのみで必要な性能を確保できる。
- 4 床用 ALC パネルは、衝撃音の遮音性能が要求される。

問題 19 敷設筋（ふせつきん）構法における ALC パネルの取付け金物に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 平プレート
- 2 角座金R
- 3 マルカン
- 4 スラブプレート

問題 20 ALC パネルに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 床用 ALC パネルには耐火 1 時間のパネルと、耐火 2 時間のパネルがある。
- 2 使用する部位によらず、一般パネルの標準幅は 600mm である。
- 3 使用する部位によらず、一般パネルの最大長さは 6000mm まで製造可能である。
- 4 一般パネルに使用される補強材の本数は、パネル種類や設計荷重などによりパネル製造業者が決定する。

問題 21 ALC パネルと一般の窯業系建材の比較に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 ALC パネルは一般の窯業系建材に比べて軽量である。
- 2 ALC パネルは一般の窯業系建材に比べて断熱性が高い
- 3 ALC パネルは一般の窯業系建材に比べて耐火性に優れる。
- 4 ALC パネルは一般の窯業系建材に比べて吸水性が低い。

問題 22 ALC パネル工事における ALC パネル相互の伸縮目地に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 縦壁ロックンク構法において、積層となる横目地と出隅部の縦目地に伸縮目地を設けた。
- 2 横壁アンカー構法において、自重受け金物を設置しない横目地に伸縮目地を設けなかった。
- 3 間仕切壁ロックンク構法において、出隅部の縦目地に伸縮目地を設けた。
- 4 縦壁ロックンク構法において、出隅部にコーナーパネルを用いた縦目地に伸縮目地を設けなかった。

問題 23 ALC パネル工事の施工計画書の作成にあたり、揚重・運搬・仮置きに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 搬入経路
- 2 ALC パネルの仮置き方法
- 3 ALC パネルの数量
- 4 搬入にかかる時間

問題 24 ALC パネル工事の特徴として、最も不適当なものはどれか。

- 1 高所作業が発生する。
- 2 各種揚重機や電動機械などを用いる作業が発生する。
- 3 アーク溶接を伴う作業が発生する。
- 4 酸素欠乏の可能性のある作業が発生する。

問題 25 縦壁ロッキング構法における ALC パネルの取付けに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 基礎部のパネル下部の取付けに、イナズマプレート R を使用した。
- 2 一般部のパネル下部の取付けに、イナズマプレート R を使用した。
- 3 開口部の開口周りの取付けに、イナズマプレート R を使用した。
- 4 パラペット部のパネル上部の取付けに、イナズマプレート R を使用した。

